

令和6（2024）年度
事業計画書



令和6(2024)年4月1日
学校法人 四條畷学園

目 次

| | |
|--------------------|----|
| 令和6年度事業計画の策定にあたって | 1 |
| 長期ビジョン・中期計画の全体イメージ | 2 |
| 長期ビジョン・学園宣言の基本的考え方 | 3 |
| 中期計画の骨子 | 5 |
| 《事業計画》 | |
| 法人本部 | 6 |
| 四條畷学園大学 | 9 |
| 四條畷学園短期大学 | 11 |
| 四條畷学園高等学校 | 14 |
| 四條畷学園中学校 | 18 |
| 四條畷学園小学校 | 26 |
| 四條畷学園大学附属幼稚園 | 30 |
| 四條畷学園保育園 | 32 |
| 主な新規事業計画 | 34 |

令和6年度事業計画書の策定にあたって

昨年の出生者数が75万人とコロナ禍で少子化が加速するとともに、世界情勢の不安定化に伴う社会的な要因により、学園や私学を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。

このような外部環境が厳しさを増すほど、課題と危機感を共有する組織風土が従来以上に求められることになり、2年後の100周年に向けた様々な取り組みを組織風土改革の機会にしていきたいと考えています。

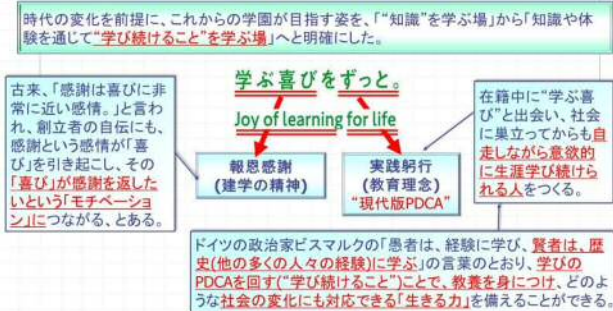
昨年は令和8年の学園創立100周年の記念事業として、総合ホール図書館リニューアル(愛称:「いもりね manabi 館」)や小学校リニューアル(第一期)を実施しました。本年以降、令和8年に向け、総合ホール食堂リニューアルや小学校リニューアル(第二期)、駅前整備事業関連の学園キャンパスのエントランス・中庭整備を進めていきます。

以上のハード面だけではなく、昨年8月の全学教職員会議で、創立100周年に向け教職員が共有すべきイメージを示す言葉(タグライン)とそのメッセージである credo を発表しました。今回のタグライン「学ぶ喜びをずっと。(joy of learning for life)」は、「学ぶ喜び」

は建学の精神に、「ずっと。」は教育理念「実践躬行」(現代版 PDCA)に対比させて、建学の精神と教育理念を継承する意味を持たせています。今年度は改めてその趣旨を徹底・浸透させ、風通しがよく、挑戦と進取の精神にあふれた組織風土づくりにつなげていきます。



◎SG100タグラインと建学の精神・教育理念

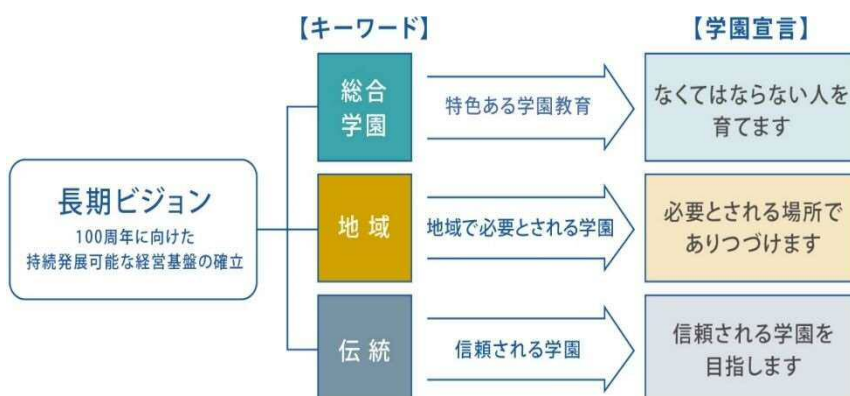


るものであり、より具体的、積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、7年ぶりの大学の第三者評価においても、同様の趣旨で、単なる課題対応ではなく、経営体質の強化の一環と捉え、能動的に取り組んでいきます。

以上、コロナ禍により明確になった課題を含めて改革に取り組むとともに、厳しい環境下でも成果をあげている学園高校の新コースのような学内での「広報×教育」の成功事例を共有し、より一層の校園間の協働・連携にもつなげていきます。特に、今年度は「感謝は学びの根(モチベーション)になる」を掲げた三次中計の折り返し年度として、方向性を再確認するとともに、100周年に向け、建学の精神にふさわしい自立・自律的な組織風土づくりに注力していきます。

学校法人四條畷学園
 理事長 小谷 明

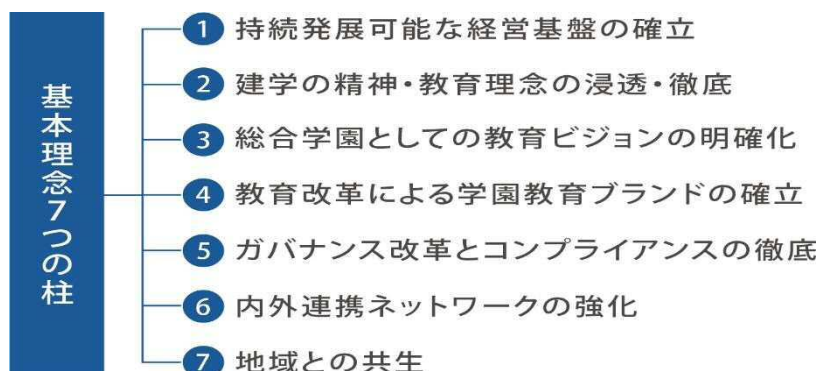
長期ビジョン・中期計画の全体イメージ



長期ビジョン・学園宣言の基本的考え方

1. 基本理念

今回の長期ビジョンでは 100 周年をいかたちで迎えられるよう七つの基本理念を設定して検討を進めました。



① 持続発展可能な経営基盤の確立

100 周年に向けた「持続発展可能な経営基盤の確立」のために、中期計画のテーマである「募集力の維持・強化」と「管理体制・財務基盤の強化」に取り組みます。

② 建学の精神・教育理念の浸透・徹底

90 周年を機に、建学の精神・教育理念の現代的解釈に基づき、総合学園としての「学園教育の特色」「育てたい人材像」「学園教育ブランド」の関係性を整理し、浸透・徹底を図ります。

③ 総合学園としての教育ビジョンの明確化

各校園の伝統的な「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」を学園全体として捉え直し、進化させ、新たな教育ニーズにも応える学園版「アクティブラーニング」に取り組み、総合学園としての教育ビジョンの明確化を図ります。

④ 教育改革による学園教育ブランドの確立

現場の教育実践が学園教育ブランドとして発信力を持つよう、学園らしい「実践躬行」を通じた教育現場主導の教育改革を推進します。

⑤ ガバナンス改革とコンプライアンスの徹底

全学的な改革を推進していくためには、理事長・校園長をはじめとする各部署の責任者による各組織体のガバナンスが確立されていること、また、全関係者にコンプライアンス(法令順守)意識が徹底されていることが必要不可欠です。あわせて、財務情報の公開など運営面での透明性を確保していきます。

⑥ 内外連携ネットワークの強化

教学・募集広報両面から内外に開かれたオープンネットワーク型の組織運営により、強みである特色づくりと損益分岐点のコントロールを並行推進します。

⑦ 地域との共生

地域密着型の総合学園として、募集面だけではなく、各校園の特色を活かし、地域との共生のための連携施策を積極的に進めていきます。

2. 長期ビジョンの基本的考え方

【特色ある学園教育】

- 学園には創立以来、徳・知・体の「三育教育」の伝統があり、幼稚園から大学まで各校園ごとに特色ある「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」が行われてきました。
- 近年、社会から求められている「実習や体験活動などを伴う主体的・対話的で深い学び」すなわちアクティブラーニングと「三育教育」「実践躬行」を重視してきた学園教育とは考え方や方法が極めて近い関係にあります。
- 90周年を機に、建学の精神・教育理念の現代的解釈を通じ、総合学園としての「教育の特色」「育てたい人材像」「学園教育ブランド」を明確にし、学園の伝統的な「三育教育」や「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」の特色を進化させ、新しい時代にふさわしく学園らしい「アクティブラーニング」モデルに挑戦していきます。

【地域で必要とされる学園】

- 「学生生徒・保護者・地域の人々から『必要とされる』場所であり続ける」ためには地域との共生が重要になります。地域で必要とされているか否かの中長期的な評価は募集状況にも反映されます。現状、近隣9市の在籍者依存度は高水準ですが、将来の募集環境の厳しさを念頭におけば、従来以上に、学園ブランドの向上とともに様々な連携施策を通じて地域での存在感を高める必要があります。
- リハビリテーション学部に加えて看護学部を加えた保健医療系大学になった今、地域との共生のための知(地)の拠点整備への取り組み等、従来以上に、地域が抱える課題解決のための連携・協働への期待が高まっています。

【信頼される学園】

- 90年の教育と経営の伝統が地域や社会から学園に対する信頼の基盤になっています。100周年に向け、引き続き、信頼を重ね伝統を守っていくために、管理面や財務面での運営体制の強化を中心としたガバナンス改革を進めていきます。
- 近年の教育行政によるガバナンス強化の要請の背景には、厳しい環境のもとでは、学校経営も一般企業と変わることなく経営体のガバナンスがしっかりとしていないと存続危機の事態を招きかねないという共通認識があります。
- SNSの時代には、管理体制の問題はもちろん、学園関係者の不用意な言動が風評リスクを通じて信頼喪失そして募集力低下に直結することになります。一人ひとりのリスクに対する意識が従来以上に問われる時代になっているという自覚が必要です。
- 私学事業団方式の評価によれば、財務面では収益性や経費構造上の課題が明確であり、コスト意識とともに予算管理を中心としたPDCA管理の徹底が求められています。

中期計画の骨子

1. 基本的考え方

中期計画の骨子は以下のとおりですが、期間は 2022 年度～2026 年度の 5 年間になります。



2. 中期計画アクションプランの共通テーマ

長期ビジョンの基本理念である 100 周年に向けた「持続発展可能な経営基盤の確立」のためには「募集力の維持・強化」と「管理体制・財務基盤の強化」という攻めと守りを同時に高いレベルで実現することが求められます。これらの課題は校園間、教学・事務間の協働・連携等全学横断的な対応が求められることから中期計画アクションプランの共通テーマとしました。

共通テーマ

- ① 募集力の維持・強化
- ② 管理体制・財務基盤の強化

3. 具体的な展開方法

中期計画アクションプランに基づき、全学、校園、本部・各事務室それぞれあるいは協働・連携して展開していきます。教育改革については「特色ある教育・学園ブランドの向上」に向けた教育実践の成果を今後の「持続発展」に必要な「募集力の維持・強化」につなげるため、特に「広報×教育改革」のシナジー効果の視点を重視していきます。ガバナンス改革についてはアクションプランの課題を中心に見直しを行い、引き続き体制整備を図っていきます。

展開方法

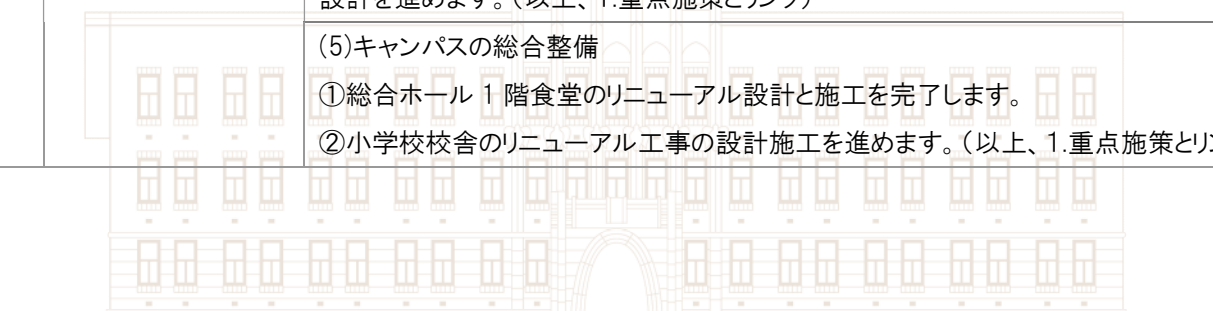
- ① 教育改革(全学・校園別)
- ② ガバナンス改革

法人本部

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|----------|--|
| 1 | 重点取組事項 | <p>(1)SG90－100Plan(長期ビジョン・中計)の推進</p> <p>①第三次中計第三年度におけるアクションプランを学園内に周知し、進捗状況を管理します。(全学園でのPDCA 継続)</p> <p>②第三次中期計数計画と令和 4～5 年度実績との比較により、変動要因を分析のうえ、対策等を立案・実施します。</p> <p>(2)都市計画・校地変更への対応</p> <p>①学園町キャンパス中央の大東市道買収に向け、埋設物の移設や撤去など、事前準備を計画的に進めます。</p> <p>②駅前整備事業の進捗に併せ、学園町キャンパスの正門・東門・幼稚園南側の車寄せの設計を進めます。</p> <p>(3)建物・設備の更新</p> <p>①総合ホール 1 階食堂のリニューアル設計施工を完了します。</p> <p>②小学校校舎のリニューアル工事の設計施工を進めます。</p> <p>③学園町キャンパス全域の配電設備の更新を進めます。</p> <p>④高等学校本館・東館の外壁・防水工事と温水プールのリニューアル工事を進めます。</p> <p>(4)創立 100 周年に向けて</p> <p>①創立 100 周年記念事業や記念行事、記念誌発刊等に向けて、準備委員会のミーティングを継続します。</p> <p>(5)私学法改正に向けた対応</p> <p>①令和 7 年 4 月 1 日に施行される改正私学法に向けて、寄附行為の改正や内部統制システムの整備等の準備を進めます。</p> |
| 2 | 教育改革サポート | <p>(1)教育・管理システムの高度化</p> <p>①老朽化しているコンピューター・サーバ関連機器を更新します。</p> <p>②地域出生率低下に伴う幼稚園園児数の減少を見据え、経費の科目別に費用対効果を見極めつつ、運営の効率化を進めます。</p> |
| 3 | 財務 | <p>(1)学生生徒等納付金の増収、及び経理の効率化</p> <p>①大学学納金の代金回収口座について、web 受付を開始します。</p> <p>②施設設備の更新に伴う高等学校の授業料見直しに向けた準備を進めます。</p> <p>(2)外部資金導入等による収入の恒常化</p> <p>①「経常費特別補助」獲得基準など、指標や数値目標を持って大学運営改革をサポートします。</p> <p>②100 周年記念寄付金の増加に向けて、返礼品付寄附金制度を含めた PR 活動の多様化を進めます。</p> <p>(3)人件費比率の適正化</p> <p>①令和 6 年度校園別期末手当の支給水準を確定します。</p> |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|---------------|--|
| | | <p>(4)経営の合理化進展、効率的な財政運営、健全な財務体質の維持</p> <p>①予算管理、支払管理を徹底します。</p> <p>②特殊要因等を分別しながら、校園別予算及び校園別収支管理を継続します。</p> <p>③教職員に向けた財務情報の開示を進めます。(7.広報とリンク)</p> |
| 4 | 教職員の育成 | <p>(1)「教職協働」の定着</p> <p>①学園広報活動やリスク案件対応を通じて、教員と職員間の連携を強化します。</p> <p>(2)教員の組織的FD活動</p> <p>①外部コンサルタントによる定期セミナーを継続し、教職員のレベルアップを図ります。</p> <p>②自己研鑽手当等を利用した外部研修受講支援を継続します。</p> |
| 5 | 人事制度全般の見直し・整備 | <p>(1)教職員の定員管理</p> <p>①有期雇用教職員の業務範囲を見直し、活用できるポストを拡大します。</p> <p>②嘱託社員の処遇を見直し、募集チャンネルや雇用形態を多様化することで、教職員の募集力を強化します。</p> <p>(2)管理職の育成</p> <p>①各校園で次世代を担う管理職候補やITリテラシーの高い人材育成に努めます。</p> <p>(3)給与体系の一般的な見直し</p> <p>①育児時短勤務の見直しなど、労働基準法を遵守しつつ、年間を通じて教職員の効率的かつ健全な働き方を追求します。</p> <p>②高齢者再雇用制度の年齢延長を見据え、役職者定年制度の見直し等を検討します。</p> |
| 6 | 組織・権限 | <p>(1)コンプライアンス・ガバナンスの強化</p> <p>①令和7年4月1日に施行される改正私学法に向けて、寄附行為の改正や内部統制システムの整備等の準備を進めます。</p> <p>②監事－内部監査－監査法人に加え、顧問弁護士や社会保険労務士、産業医との連携を強化し、法務関連事案や労務管理上の課題に対し迅速に対応します。</p> <p>(2)内部統制、リスク管理機能の強化</p> <p>①人事異動やOJTなどにより、事務職員の多能化を進めます。</p> <p>②総務関連事務や資産管理のデジタル化、見える化を進めます。</p> <p>③内部監査担当と監事が連携のうえ、投資案件、リスク対応事案の監査を強化します。</p> |
| 7 | 広報 | <p>(1)戦略的広報体制の確立・展開</p> <p>①全学広報委員会の運営をサポートし、全学広報担当と大学・短期大学広報課、広報担当者間の情報交換により、各校園の連携を強化します。</p> <p>(2)情報公開</p> <p>①私学法や補助金助成基準を上回る基準でHP開示項目の拡大を図ります。</p> <p>②図表・グラフ等による開示内容の充実を図ります。</p> <p>③財務情報の教職員向け開示を進めます。(3.財務とリンク)</p> |
| 8 | 施設整備・その他 | <p>(1)外部評価機関の活用</p> <p>①大学の外部認証評価、短期大学の自己点検評価に向けて、財務・ガバナンス部門の適</p> |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|------|--|
| | | 切な評価および改善に努めます。 |
| | | <p>(2)施設の適切な管理</p> <p>①総合ホール1階食堂のリニューアル設計施工を完了します。</p> <p>②小学校校舎のリニューアル工事の設計施工を進めます。</p> <p>③学園町キャンパス全域の配電設備の更新を進めます。</p> <p>④高等学校本館・東館の外壁・防水工事と温水プールのリニューアル工事を進めます。</p> <p>(以上、1.重点施策とリンク)</p> <p>⑤総合ホールと高校東館のトイレ改修を進めます。</p> |
| | | <p>(3)危機管理と防災対策</p> <p>①大東市による道路拡張工事の本格化にともない、児童・園児・教職員の安全管理を徹底します。</p> |
| | | <p>(4)都市計画への対応</p> <p>①学園町中央の大東市道の買収に向け、埋設物の移設や撤去など可能な準備を計画的に進めます。</p> <p>②駅前整備事業の進捗に併せ、学園町キャンパスの正門・東門・幼稚園南側の車寄せの設計を進めます。(以上、1.重点施策とリンク)</p> |
| | | <p>(5)キャンパスの総合整備</p> <p>①総合ホール1階食堂のリニューアル設計と施工を完了します。</p> <p>②小学校校舎のリニューアル工事の設計施工を進めます。(以上、1.重点施策とリンク)</p> |



大学

| No | 施策種類 | 2024 年度事業計画 |
|----|-------------------|---|
| 1 | 重点取組事項 | <p>(1)教育の質の向上</p> <p>①アセスメント・ポリシーに従い各レベルの評価主体・時期に教育・学修成果を可視化・分析し、三つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の達成度を評価し、継続的に必要な教育改善を推進します。</p> <p>(2)募集活動の強化</p> <p>①総合型選抜、指定校推薦等年内入試に重点を置き、各学部の入学定員(リハ 80、看護 80)を確保します。</p> <p>②指定校の見直しと関係強化により、指定校推薦による入学者の増加に努めます。</p> <p>(3)学生支援</p> <p>①入学前及び初年次教育を通じて基礎学力向上、主体的学修習慣の醸成、教養教育の充実を推進します。</p> <p>②アセスメントテスト結果や各種分析等に基づき、継続的な学生支援体制の改善とともに、各学生の資質・学力に応じた個人指導を行います。</p> <p>③初年次から国家試験対策を意識した指導を徹底します。</p> |
| 2 | 教育内容・水準の充実 | <p>(1)学生満足度の高い教育の提供</p> <p>①アセスメント・ポリシーに基づき、教育・学修成果を評価・分析し、学生満足度向上につながる改善をめざします。</p> <p>②ノウハウ共有化や内外の研修会への積極的参加や教員相互の授業参観等、FD・SD 活動の充実により教職員の教育・指導スキルの向上を図ります。</p> <p>③学生の学修進捗度に応じた教育や優れた能力を伸ばす教育の機会を提供し、学生満足度を高めます。</p> <p>(2)自己アセスメント体制の確立</p> <p>①自己点検・自己評価委員会が主導し、内部質保証のための PDCA サイクルを有効に機能させます。</p> <p>②2024 年 11 月受審予定の第三者認証評価で「適合」認定されるよう体制整備、準備に努めます。</p> <p>(3)ICT を活用した教育環境の整備と効果的な教育手法導入を検討します。</p> |
| 3 | 教育・研究基盤の整備及び環境の充実 | <p>(1)教育・研究環境の充実</p> <p>①科研費獲得や健康科学研究所研究支援資金の有効活用を推進します。</p> <p>②「教育の質保証」で求められる内容等を踏まえた、教育環境の整備に努めます。</p> <p>③実践教育センターの機能を充実し、在学生及び卒業生の大学院進学等を積極的に支援します。</p> <p>④東南アジア等の海外大学との交流を推進します。</p> <p>(2)実習施設の充実</p> <p>①新規実習施設開拓や実習指導員養成を推進します。</p> <p>②コアの実習施設や実習指導員との連携を強化します。</p> <p>(リハ)臨床実習指導者会議、卒業生対象分科会他 (看護)看護学に関する研究指導他</p> <p>③看護学部では臨床実習の実効性を高めるべく学内にあるシミュレーション機器等を効果的に活用します。</p> <p>(3)卒業生ネットワークの充実</p> <p>①卒業生の情報データベースを構築します。</p> <p>②卒業生交流イベントの開催に積極的に取り組みます。</p> <p>③卒業生意見を教育の質の向上に活用できる仕組みを構築します。</p> <p>(4)専門書の新旧入れ替えやレイアウト等の変更による利便性向上により、図書館利用率をアップします。</p> |

| No | 施策種類 | 2024 年度事業計画 |
|----|--------------|--|
| 4 | 社会貢献・文化活動の推進 | (1)積極的な地域貢献 ①公開講座の充実による地域住民への貢献に努めます。 ②行政、地域企業、他大学等と連携し、住みやすい街づくりに貢献します。 ③障害者スポーツやリハビリテーション、あるいは老年看護学等の専門性を活かした助言や活動を通して、社会貢献に積極的に取り組みます。 |
| 5 | 学生募集 | (1)重点エリア並びに高大連携高校をはじめとした重点指定高校に対し、各学科・専攻の特性を踏まえたきめ細やかなアプローチのもと、オープンキャンパスへの参加者の増強に努めます。 <PT>意欲の高い学生の確保に注力します。 <OT>職種の認知度向上に努めた活動に注力します。 <看護>面倒見の良さ等、他大学との差別化に注力します。 ①重点指定校のニーズを的確にとらえた高大接続強化により、指定校推薦入学者を増やします。 ②学園高校との連携を通して、医療分野の理解が深まる教育・広報活動等により内部進学者の増加に努めます。 HPや SNS 等の媒体を効果的に活用し、高校低学年生徒への本学知名度の浸透を図ります。 |
| 6 | 進路対策・就職対策 | ①キャリアセンターの機能向上により、効果的な就職活動を支援します。 ②実践教育センターを通じ、卒業生の転職・復職等を支援する人材バンク的機能をめざします。 |
| 7 | 災害対策への取組 | 「危機管理マニュアル」に基づき、防災訓練の実施等により、緊急災害時の対応力の向上に努めます。 |
| 8 | その他 | (1)事務品質の向上 コンプライアンス遵守を土台とし、多能化や業務の効率化を進め、リスク管理を強化します。 ①円滑な学生対応に向け、事務品質を維持・向上します。 ②外部研修会への積極的な参加により知識を向上、事務プロセスを改善します。 ③業務ミス、トラブル、ヒヤリハットを迅速に報告、問題点・対応策を共有し、リスク意識を強化します。 (2)学生支援センターの活性化により教育サービスの向上 ①大学・短期大学の共通プラットフォーム化を推進します。 ②各事務室業務とのセグメント化を図り、事務の効率化を推進します。 |

短期大学

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|------------|---|
| 1 | 重点取組事項 | (1) 収容定員の充足 重点エリア・指定校への効果的な活動により、募集定員 180 名(保育 100 名、ライフ 80 名)の入学者の確保に努めます。 一方、少子化の影響により環境が急激に変化しており、文部科学省は教育の質の向上、適切な運営体制を求めていることから、近隣他学の収容定員状況等を踏まえ、適正な収容定員等について検討していきます。 |
| | | (2) 教育の質の向上 短期大学における 3 つのホリソン(ティップロム・ホリソン、カリキュラム・ホリソン、アドミッション・ホリソン)に基づき、アセスメントホリソンに従って学修成果の達成状況を評価し、教育の質の向上に努めるとともに、早い段階から就職活動のサポートに努めます。 就職・進学支援を目的に、各種資格検定試験等へのサポート体制の充実に努めます。 |
| | | (3) 学生支援 学生の学びの状況等把握に努め、親身な生活・学習面のサポート、保護者との密な連携等により、休学・退学の可能性がある学生に対し丁寧な対応に努めます。 |
| 2 | 教育内容・水準の充実 | (1) 共通 学生の学修機会の確保を図り、質の向上を目指します。 ① 「課題発見・対応能力」を高めるため、アクティブラーニング等の教育ツールを積極的に活用しコミュニケーション能力の向上に努めます。また、必要な教養・知識を備え、主体的行動ができる人材を育成します。 ② 学生の満足度が高く、質の高い教育を提供します。 ア. 新入生全員に「入学に至る意識調査」を実施し、学習意欲や短期大学への期待を把握し、入学直後の指導を充実します。 イ. 到達目標達成評価表(ルーブリック評価法)により、運用や評価方法等、評価者の理解力を高め、カリキュラムの改善について検討します。 ウ. 「授業評価アンケート」や教員相互による「公開授業参観」の実施、結果を踏まえ、「授業の質の向上」を図ります。 エ. 「ICTの活用」、「生成AIの活用」の可能性について検討を進める。 |
| | | (2) 保育学科 ① ピアノ等のマンツーマン指導による「音楽教育」、幼児を魅了する感性を磨く「美術教育」等の魅力ある教育を目指し、競合他校との差別化を図ります。 ② 「指定園」の見直し、取組み強化を検討します。実習先との意見・情報交換の機会を増やし、事前・事後学習の内容を改善に努め、実習内容の一層の充実に図ります。 |
| | | (3) ライフデザイン総合学科 現実社会に対応し生き抜く力を育成します。社会や学生のニーズを的確にとらえ、授業内容を工夫し、各学生が「自分の適性」に気づく教育を行います。また、各スキルと就職先・キャリアパスの関連を具体的に例示し、主体的にライフデザイン(人生設計)を描く能力を高めます。 |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|-----------------|---|
| 3 | 教育・研究基盤および環境の充実 | <p>(1)教育提携の在り方について、社会情勢や学生ニーズを踏まえ、学びやすい環境について検討します。</p> <p>(2)教育に関する最新情報の提供や職場での悩みに対する助言を通して、地域と協働の研究基盤の整備、検討に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東市・四條畷市・門真市の各種委員会への派遣により、情報交換に努めます。 ・大東市・四條畷市との連携事業を通し実践・研究の質を高めます。 <p>(3)「なわてドリル(e-ラーニング)」の活用を推進し、基礎学力の向上に努めます。基礎学力と SPI 能力の連動性や対象科目の変更等を検討し、充実に努めます。</p> <p>(4)ICT の活用の 1 つとして「eBook」による図書館機能の充実、活用、利用を推進します。</p> <p>(5)科研費取得目標を 300 万円とします。</p> |
| 4 | 社会貢献・文化活動の推進 | <p>(1)地域住民および企業のニーズ等実態把握に努め、求められる「リカレント教育」について検討し、地域に貢献します。</p> <p>社会人リフレッシュ教育講座の新規講座の開講に向けて地域ニーズの把握に努め、参加者の増強を目指します。</p> <p>(2)地域・大学と連携し、教育活動や各種ボランティア活動を通して地域との接点を強化します。</p> |
| 5 | 学生募集 | <p>(1)重点エリアならびに高大連携高校をはじめとした重点指定高校へのきめ細やかなアプローチのもと、模擬・体験授業等の対応強化を図り、効果的な募集活動を行うことで、オープンキャンパスへの参加者増強に努めます。また、受験しやすい入試選択等、魅力ある入試制度の周知に努めます。</p> <p>(2)広報媒体の多様化ならびに高校教員との接点強化により、短大の魅力を伝えるべく、ターゲット層への発信力(わかりやすさ・見やすさ等)の強化、改善に努めます。</p> <p>(3)学校見学会・出前授業や短大生の実体験紹介を増やす等、学生の顔が見えるオープンキャンパスに変革します。</p> |
| 6 | 内部進学 | <p>(1)学園高校向け説明会等で、学びと将来の就職先が具体的にイメージできるよう探求の学習等の内容や開催方法を工夫し、本学に対する理解を深めます。</p> <p>(2)高校・短大を通じて継続的に挨拶やマナー等の基本を教育する仕組み(情報交換、定期的な協議会)をとおり、「社会適応力」を高めます。</p> |
| 7 | 進路対策・就職対策 | <p>(1)各種業界等が主催する「就職フェア」等への積極的参加を促し、サポートに努めます。また、就職先の求人状況等実態把握に努め、新たな就職先の開拓に努めます。</p> <p>(2)大学進学(編入)希望者の個別相談に応じ、適確な支援を行い、就職以外の選択肢をアピールします。</p> <p>(3)卒業生のネットワークを活用した懇談会等による卒業生と学生相互間の交流の機会を増やし、学生の就職意欲の高まりや就職先の開拓に繋がります。また、学生の就職活動に係る保護者説明会を開催します。</p> <p>(4)「公務員対策講座」の実施方法・内容を工夫し、参加者・出席率を向上させ、公務員志望・適性のある学生を支援します。</p> |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|-------------|---|
| 8 | 災害対策への取組 | (1)「危機管理マニュアル」に基づき、防災訓練を実施する等の確な災害対策、対応ができる体制の確立を目指します。 |
| 9 | その他 施策種類 | <p>(1)事務品質の向上 コンプライアンス遵守を土台とし、多能化や業務の効率化を進めるとともに、リスク管理を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な学生対応に向け、事務品質の維持・向上に努めます。 ・外部研修会への積極的な参加により知識の向上、事務プロセスの改善に繋がります。 ・業務ミスやトラブル、ヒヤリハットを迅速に報告、問題点や対応策を教職員が共有し、リスクに係る意識の強化、定着に努めます。 <p>(2)学生支援センターの活性化により、教育サービスの向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・短期大学の共通プラットフォーム化の推進を図ります。 ・各事務室業務とのセグメント化を図り、事務効率化を推進します。 |



高等学校

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|------------------------------------|--------------------------|---|--|
| 1.建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践 | (1)理念・方針にもとづく教育計画の再構築 | ①年度の初めに、各学年・コース・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。 | ①目標や計画の重要性から教員の自己評価平均4.0以上を目指します。(R5年度3.77) |
| | (2)教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備 | ①本校の特徴を前面に打ち出し、新学習指導要領に沿った取り組みを実践していきます。 ②教員の「授業力」向上のため、教務部と委員会を中心に、研修・会議・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。 ③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図ります。 | ①～③の自己評価は、全て4.0以上を目指します。(R5年度①3.85②3.93③3.33)③においては報連相に加え、横の連携を図ります。 |
| 2.高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成 | (1)主体的・対話的で深い学び(AL授業)の実践 | ①基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。 ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。 ③課題発見能力と課題解決能力を養うための授業を実践します。 | ①～③の自己評価は、全て4.0以上を目指します。(R5年度①3.98②3.95③3.75) |
| | (2)集団・社会に貢献できる態度・実行力 | ①基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行います。 ②学級活動や行事を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。(R5年度①3.6②3.75) |
| | (3)部活動を通して心身の鍛錬 | ①短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践します。 ②協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行います。 | ①・②の自己評価は、総合的に4.0以上を目指します。(R5年度①・②3.88) |
| | (4)市民性を育む教育 | ①18歳成人を見すえて、選挙権など含め市民性・主権者意識を育む教育を実践します。 ②よりよい地域を目指したボランティア活動等の集団的、体験的な活動並びに地域活動への参加を推奨し、実践的学習を推進します。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。(R5年度①3.15②3.42) ①は教育のあらゆる場面での指導に努めます。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|--|--------------------------|---|---|
| | (5)国際的資質を育む教育 | ①海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会に必要な国際感覚を育てます。 | ①自己評価は、4.0以上を目指します。 (R5年度3.75) |
| 3.人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識の育成 | (1)自己・他者が共により良く生きようとする態度 | ①学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施します。 ②学級生活や活動を通して、多様な価値観を認め合い、仲間と共に調和して生活しようとする態度を養います。 ③いじめアンケートを学期ごとに実施し、普段から生徒の日々の様子をしっかりと観察することで、個人に応じたきめ細やかな指導を行います。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。 (R5年度①3.78②3.75) ③の自己評価は、4.2以上を目指します。 (R5年度③4.02)いじめの早期発見と対応に一層努めます |
| | (2)一人ひとりのニーズに応じた指導 | ①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教育を実施します。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。 (R5年度①3.98②3.63) |
| 4.進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導 | (1)未来の目標を実現する能力 | ①生徒が自分の興味・関心・得意を知り進路目標を考える進路指導を行います。 ②職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施し、キャリア教育を推進します。 | ①・②の自己評価は、全て4.2以上を目指します。 (R5年度①3.95②3.92) |
| | (2)生徒の目標を実現させる進路相談・支援 | ①進学や就職にかかわる進路情報を提供し、丁寧で個性に応じた相談や助言を行います。 ②生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施します。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。 (R5年度①3.98②3.35) |
| 5.安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成 | (1)防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施 | ①マニュアルに沿った避難訓練や地震・津波・火災等、防災・減災に向けた防災訓練を実施します。 ②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。 | ①・②の自己評価は、全て4.0以上を目指します。 (R5年度①3.77②3.45) 訓練のみならず、科学的理解を深めるよう努めます。 |
| 6.内部進学強化 | (1)中高連携の強化 | ①中高連絡会議の内容の充実と、高校での教育内容の魅力をしっかりと中学生・保護者に提供します。 ②本学園中学生への進学相談において、親切・丁寧な対応をします。 ③全コースの教育内容を学園中学生に公開および | ①・②・③を実施することで、当学園中学校から専願第一希望者、30名以上を目指します。 (令和5年12月21名) |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|--------------|---------------|--|--|
| | | び説明することで、興味関心を深めます。 | |
| | (2)高短連携の強化 | ①高短合同会議、高短連絡会を通して、高短の連携を密にします。 ②本学園短大の就職と編入学の状況について説明会を実施します。また、内部進学した先輩が社会人として活躍している様子を高校生に紹介し、内部進学の利点をアピールします。 ③本学園短大生の資格取得状況を伝えることで、就職に結びつけた進学指導を行います。 | ①・②・③を実施することで、当学園短大への内部選抜 A 日程の受験者、40 名以上を目指します。 (令和 5 年度 32 名) |
| | (3)高大連携の強化 | ①高大連絡会議をさらに充実します。 ②リハビリテーション学部・看護学部の志願者増加に向けた魅力ある説明会・体験授業等を実施します。 ③本学園大学の内部進学事前相談会を行うことで、内部進学者の増加につなげます。また、大学の体験授業を実施することで、それぞれの学部への理解を深めます。 | ①・②・③を実施することで、大学への内部選抜の受験者、15 名以上を目指します。 (令和 5 年度 11 名) |
| 7. 生徒募集対策の強化 | (1)募集・広報体制の整備 | ①募集広報部と専従者が連携し、広報活動をより強化します。 ②募集活動を効率よく行うために、統計的結果を基にして、計画を策定します。また、教職員が情報共有できるための研修を実施します。 ③活動予算の立案と効果的な企画を検討していきます。 | ○広報活動による情報提供の自己評価は、4.6 以上を目指します。 (R5 年度 4.42) |
| | (2)募集・広報戦略の改善 | ①募集方法や手段・時期の設定として、web 広告を有効的に活用し、より効果的な広報活動を行います。 ②活動対象に応じた戦略として、教育活動を tiktok などの SNS 動画で閲覧できるように、生徒目線で編集することで広報していきます。 ③教育活動内容やプログラムの情報を幅広く提供するための工夫として HP・パンフレット・リーフレットの充実を図ります。また HP では、さまざまな教育活動の動画を作成し、活動様子や戦績などを積極的に発信します。 | |
| | (3)教育の特色の明確化 | ①各コースの特色と実績を明確にするために、それぞれの生徒に合った進路選択ができるように | ①～④の自己評価は、総合的に 4.3 以上を目 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|----------|---|----------------------------------|
| | | <p>努めます。</p> <p>②教育活動の充実と生徒の成長を図るために、生徒にわかりやすい授業の提供と学期に 1 回の授業評価アンケートを実施します。</p> <p>③教育理念に即した人を育てる教育の実践として、「実行から学べ」をテーマに生徒が参加し楽しめる企画を検討します。</p> <p>④特技を有する入学生が増加する対策を引き続き行っていきます。</p> | <p>指します。</p> <p>(R5 年度 4.13)</p> |



中学校

【学校全体】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-----------------------------|---------------------|--|--|
| 1. 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性 | (1) 私学の独自性 | <p>①職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践します。</p> <p>②入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解に努めます。</p> <p>③教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図ります。</p> | <p>①教員による建学の精神・教育理念の理解・実践目標を 4.3 以上とします。 (令和 5 年度教員 4.4)</p> <p>②諸式を通じて校長講話の中で、建学の精神・教育理念等をわかりやすく説明します。 (令和 5 年度保護者 4.1 生徒 3.9)</p> <p>③宿泊行事や社会見学など多彩な行事を通じて教育方針に基づいた活動を実践します。 (令和5年度生徒 4.3)</p> <p>②③の目標は 4.2 以上とします。</p> |
| | (2) 生徒のニーズに対応した教育活動 | <p>①授業評価を検証し、改善点を見出し、生徒にとってよりよい指導を行います。</p> <p>②発展探究クラスは、「総合的な探究学習(G-pro)」を授業に取り入れ、探究活動を通じて協働し自ら発信する力を養い、将来の進路を自ら実現させます。</p> <p>③ 発展文理クラスは、学年での探究活動に加え、日々の確認テストやハイレベルな目標設定を通じて、主体的に応用的な内容まで学ばせ、よりハイレベルな進路実現のニーズに対応します。</p> | <p>発展探究・発展文理の2つのクラス編成により、新しい教育活動を行います。</p> <p>新カリキュラムへの移行が完了しました。より充実したカリキュラムとなるようPDCA を繰り返し、発展させます。</p> <p>生徒がそれぞれのカリキュラムに従い、活動を実践し、理解できるように努めます。(令和5年度生徒 4.1 保護者 4.0)</p> <p>それぞれの目標値を 4.2 以上とします。</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|----------|---|--|
| | (3)進路指導 | <p>①生徒が、自ら夢に向かう進路実現ができるように、また、主体的により良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行います。</p> <p>加えて、各担任による個別対応もしっかりと実践します。</p> <p>②自分の進路について主体的にまた積極的に考え、そのための進路を選択できる力を育みます。</p> <p>③個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、生徒・保護者との面談を大切にしながら進路相談や進路支援を行います。</p> | <p>① 生徒の将来を見据え、探究活動を通じて自己発見や進路情報の提供を行います。 (令和5年度教員 4.5) 目標は4.2以上とします。</p> <p>② 探究活動を通じて、自己肯定感を高め、自ら考え、進路選択できる力を養成します。</p> <p>③ 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行いません。(令和5年度は生徒 4.1・保護者 3.8・教員 4.3) 4.2以上を目標とします。</p> |

【学習指導・人権教育】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|--------------------------------|----------|---|---|
| 1. 学習面における、きめ細かい指導の実践と確かな学力の育成 | (1)教科指導 | <p>①各教科、シラバスに沿って指導し、グループ学習を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組みます。</p> <p>②ICT 機器(タブレット)を積極的に利用し、分かりやすい授業を目指し、創意工夫を行います。</p> | <p>①教員によるシラバスに沿った指導、グループ学習やALを取り入れ、より一層内容定着の充実を図ります。目標を4.2以上とします。 (令和5年度 教員 4.1)</p> <p>②教員による授業への創意工夫を行い、すべての活動や教科等でICT機器の有効活用を通じ、分かりやすい授業の展開の目標値を4.3以上にします。 (令和5年度教員 4.3)</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-----------------|----------|--|--|
| | | <p>③学力の向上と定着をめざすため、早朝学習・放課後学習(自習室活動)・休暇中の講習を実施します。</p> <p>④自らの課題に向けて考え、協働し、自己肯定感を高め、学習意欲を高めるために探究活動を実施します。</p> | <p>生徒・保護者による「ICT機器の利用など授業は分かりやすいか」には(令和5年度 生徒 4.2 保護者 3.9)とまだ開きがありました。</p> <p>両者の目標値を4.2以上に設定します。</p> <p>③教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒の支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっています。</p> <p>(令和5年度教員 3.7)と評価が低いです。</p> <p>教員による生徒の学力向上への取り組みは、(令和5年度 生徒 4.2 保護者 3.9 教員 4.2)で、保護者と生徒で開きがあります。</p> <p>4.2以上を目標とします。</p> <p>④探究活動を通じて、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現し、様々なことに興味・関心が持て、意欲を得るようになることを目標とします。</p> |
| 2. 人権を尊重する学校づくり | (1) 人権教育 | ①「心のバリアフリー」の観点から、障がい者理解を深めつつ、人権感覚を持ち、相手の立場になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行います。 | ①教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践します。 <p>(令和5年度教員 4.5)であり、引き続き4.3以上を目標とします。</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|----------|--|--|
| | | <p>②いじめ等の予防、早期発見のため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、クラスの現状を把握し、人権意識を育てます。</p> <p>③障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行います。</p> <p>④12月の人権週間には中学校行事として、人権講演会を実施します。</p> | <p>②生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切かについては、(令和5年度 生徒 4.0 保護者 3.8)とまだ保護者の評価が低い。 目標は 4.0 以上とします。</p> <p>③教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践します。(令和5年度教員 4.2) 4.2 以上を目標とします。</p> <p>④人権講演会や道徳的な行事については(令和5年度 生徒 4.2 保護者 3.9 教員 4.1)で満足度はやや低下しています。 ていねいな人権教育を継続し、目標を 4.2 以上とします。</p> |

【学校生活】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|---|----------|--|---|
| 1. 基本的な生活習慣の確立と安全で安心な学校づくり、および生徒支援を通じた豊かな人格形成 | (1)生活指導 | <p>①個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活において社会性を身につかせます。 また、生徒にとって過ごしやすい生活環境であるために規則の改訂にも継続的に取り組みます。</p> | <p>①教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじるは(令和5年度 4.0)で向上が必要です。 目標は 4.2 以上とします。 生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導(令和5年度 生徒 4.2 保護者 4.0)と安定しています。引き続き 4.2 以上を目標とします。</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|--------------|--|--|
| | | ②重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、乗車マナーの啓発や挨拶運動を実施します。 | ②(令和5年度生徒3.9 保護者3.8 教員4.1)とより努力が必要です。 生徒会を中心に積極的に挨拶運動を行い、学校月間目標により、さらに啓発を行います。目標値を4.0以上とします。 |
| | (2)危機管理と情報公開 | ①教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざします。また、災害に備えて備蓄品を整えます。 ②情報モラル講演会などにより、スマートフォン・タブレットなどの情報機器の正しい使用法を習得させます。 特にSNS、写真撮影等個人情報の公開の危険性、人権面での指導に力点を置きます。 ③学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行います。 | ①安心・安全な学校を目指すことに関して、危機管理マニュアルの整備(令和5年度教員4.2)、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策(令和5年度教員4.3) どちらも高評価です。 4.2以上の目標とします。 ②情報機器の正しい使い方では(令和5年度生徒4.1 保護者3.7 教員4.3)と保護者が生徒に対する信頼がまだ低いようです。4.0以上を目標とします。 ③情報公開については、努力により保護者の満足度が向上しつつあります。(令和5年度生徒4.4 保護者4.1) よりわかりやすい方法を模索し、4.2以上を目標とします。 |
| | (3)学校行事や部活動 | ①社会性や協調性の育成のため、部活動を奨励します。 | ①部活動への参加を奨励します。 (令和5年度生徒4.2 保護者3.9)です。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|------------------|--|--|
| | | <p>②情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、視聴覚行事、オリエンテリングなど多彩な行事を充実させます。</p> <p>文化祭、体育会では生徒会を中心に、自主的に活動する姿勢を育てる機会にします。</p> <p>③全クラスでさまざまな行事と探究活動を結びつけ、発展探究クラスでは「探究(G-pro)」授業を充実させます。</p> | <p>4.1 以上を目指します。</p> <p>② 多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に考え、行動できる生徒を育てます。</p> <p>(令和 5 年度 生徒 4.3 保護者 4.3)</p> <p>通常の学校生活に戻り、評価は上昇傾向です。</p> <p>4.2 以上を目標とします。</p> <p>③ 主体的に活動し、協働し、表現できる生徒を育てます。</p> |
| | (4) 課題を抱える生徒への支援 | <p>①生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行います。</p> <p>担当を中心に主任、クラブ顧問など多くの教員で情報を共有し、対応します。</p> <p>②問題解決の部署として ICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、生徒相談係を中心に相談しやすい環境づくりに努めます。</p> | <p>①担任は日直面談等きめ細かい支援を行なっています。</p> <p>(令和 5 年度教員 4.2)</p> <p>引き続き、目標は 4.2 とします。</p> <p>②面談等の満足度は、まだ低いです。</p> <p>(令和 5 年度 生徒 3.9 保護者 3.8)</p> <p>4.0 以上を目標とします。</p> |

【社会貢献】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献 | (1) 保護者・同窓会・後援会との連携推進 地域の社会活動への協力 | <p>①保護者と協力し PTA 活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援します。</p> <p>②生徒会活動を通して復興支援やボランティア活動等で地域に協力します。</p> | <p>①保護者から見る PTA 活動は通常の教育活動に戻りましたが、(令和 5 年度 保護者 3.8)とまだ低いです。目標値 4.0 以上になるよう活動を支援します。</p> <p>②生徒から見る生徒会活動は(令和5年度 生徒 3.7) とまだ低いです。活性化に向け、目標値を</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|----------|--------|-------------|
| | | | 4.0 以上とします。 |

【生徒募集】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-----------|--|---|--|
| 1. 生徒募集対策 | (1)学外説明会の充実による受験者確保 | ①生徒による学校紹介、クラブ紹介や個別説明会、プレテストを実施します。また、発展探究・発展文理クラスの活動を紹介し、より一層の理解と共感を得るように工夫します。 | ①中高広報サポート室開設2期目となります。1年目の取り組みに対し、しっかりと検証し、各主要説明会への参加者数の前年度比増加のため、動員を導くためのオープンスクールのあり方を模索し、わかりやすい、温かみのある丁寧な受験生・保護者との関係構築を目指します。受験者数を増やし、入学者数160名以上の獲得を目標とします。 |
| | (2)小中連絡会等による内部小学校との連携充実 内部進学者数の増加努力 | ①中学校紹介・進路相談コーナーなどを設置し、公開授業・体験授業などへの児童の参加を勧めます。 本校探究活動のあり方を理解してもらうよう努力します。 ②小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における9カ年小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します。 | ①内部小学校との連携を深め、内部進学者を在籍者数の70%以上を目標とします。また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。 |
| | (3)中高連絡会等による内部高等学校との連携充実 | ①各教員が内部高等学校の教育内容を十分に理解するように努力します。 | ① 高校の積極的な紹介、個別ブース等で理解を深め、学内進学は、在籍者数の20%以上を目標とします。 |
| | (4)高校進学実績の強化 | ①生徒が自主的・主体的に選択できる、他私立学校にない進路指導を実現します。 多彩な高校への進路実績により、募集力向上 | ① きめ細やかな個別指導や学習活動はもちろんのこと、特待生制度に加 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------|---------------|--|--|
| | | に努めます。 | え、今年度より導入の特待チャレンジ入試制度により、優秀な生徒を獲得による相乗効果により、全体の進路実績強化を目指します。 |
| | (5) ホームページの充実 | ①HP や SNS などを通じて、受験生・保護者に学園の魅力をわかりやすく伝えます。 | ① 本学の教育の特長を説明する等ホームページを充実させます。 また、常に SNS 等による最新の情報発信を実施します。 |



小学校

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|---------------------------|---------------------|---|--|
| 1.建学の精神を土台とした私学の独自性 | 建学の精神の理解と実践と教育計画の構築 | ①職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。 ②小学校教育指針に基づく教育計画の構築し、実践します。 | ①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) ②年間教育計画に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3) |
| 2.基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり | (1)基礎学力の徹底 | 一人ひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。 | 保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度 4.2) 学力向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) |
| | (2)独自のカリキュラムづくり | ①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちがわかりやすい授業を実践します。 ②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。 ③児童自身が考え、提案し、自発的に運営していけるクラブ的な活動(Enjoy 活動)をさらに精選し、構築していきます。 | ①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.4 以上、児童 4.5 以上に向上します。 ②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) |
| | (3)教員の指導力向上 | ①教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。 ②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上を目指します。 | ①計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4) ②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 5 年度 3.5) |
| 3.自律の意識を育む | (1)基本的な生活習慣の育成 | ①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意 | ①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.4 以 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|-------------------------|----------------------------|--|---|
| めの基本的 生活習慣 の育成 | | <p>識を育む指導を行います。</p> <p>②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。</p> | <p>上を目指します。(令和 5 年度 4.2)</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.6 以上に向上します。(令和 5 年度 4.5)</p> <p>主体性重視に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)</p> |
| | (2)規律遵守の向上 | <p>規律遵守の意識レベルの向上を図ります。</p> | <p>児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童 4.6 保護者 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度児童 4.5 保護者 4.2)</p> <p>規則を守る態度に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)</p> |
| 4.社会性を 培う集団活 動の充実 | <p>社会性や市民性を 育む体験活動</p> | <p>①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。</p> <p>②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。</p> <p>③低学年(2年)の宿泊行事を企画し、それぞれの学年における体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践していきます。また、体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。</p> | <p>①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童 4.5 保護者 4.4 以上に向上します。(令和 5 年度児童 4.4 保護者 4.3)</p> <p>学習意欲の向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)</p> <p>③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者 4.7 以上、児童 4.9 以上に向上します。(令和 5 年度児童 4.8 保護者 4.6)</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|--------------------------|-------------------------|--|--|
| 5.主体的な生き方の尊重 | 主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成 | ①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。 ②人権教育 人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。また、いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。 | ①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) ②人権意識向上に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3) |
| 6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実 | (1)防災教育・不審者対策 | 児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討し、訓練を実施し、校内の安全性を高めます。 また、災害に備えて備蓄品を整えます。 | 緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3) |
| | (2)危機管理と情報モラル | ①自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立てます。 ②「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。 | ①防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 月年度 4.5) ②マナー・モラルに関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4) |
| | (3)美化 | ①落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。 ②子どもに好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画するとともに、老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。 | ①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.1 保護者 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度児童 3.9 保護者 4.2) 美化に関する教職員の自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 5 年度 4.1) ②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.3 以上に向上します。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組 | 評価指標 |
|---------------|----------|--|--|
| | | | (令和5年度保護者4.2) 好ましい環境に関する教員 自己評価4.0以上を目指 します。(令和5年度3.6) |
| 7.内部連携 の強化 | 内部連携の強化 | <p>①中学校 小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における9カ年の小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します</p> <p>授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 幼小連絡会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。 絵本読み聞かせや合同物作り体験を設け、小学校の活動に親しんでもらい、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> | <p>①令和5年度は、中学内部進学者56名(62%)でした。(91名中)(令和6年度中学入学者) 令和6年度学園中学進学は、内部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。</p> <p>②令和5年度(令和6年度生)は、幼稚園からの内部進学者は34名でした。</p> <p>令和6年度(令和7年度生)は、内部進学者45名以上を目標とします。</p> |
| 8.児童募集 の対策 | 児童募集対策 | <p>①学校ホームページや広報活動(パンフ配布)などの活動を拡充します。</p> <p>外部幼稚園や幼児教室での入試説明会や体験授業の実施し、外部からの受験者増加につなげます。</p> <p>②外部幼稚園や幼児教室への広報活動を拡充します。</p> | <p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価4.3以上を目指します。(令和5年度4.0)</p> <p>②令和5年度(令和6年度入学生)は77名でした。(令和5年12月現在) 令和6年度は集定員充足90名以上を目標とします。</p> |

幼稚園

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|-----------|---|
| 1 | 原理原則 | <p>ヨコミネ式教育法による教育・保育を徹底的に推進します。</p> <p>①学園幼稚園はヨコミネ式教育法で保護者に選ばれる園になる。</p> <p>②進行予定表に従い全園児を予定通り進捗させる。</p> <p>③原理原則からぶれず、教育・保育を推進する。</p> |
| 2 | 教育・保育方針 | <p>幼児活動研究会からヨコミネ式教育法の教え(指導法)を学び、忠実に実践します。</p> <p>①学園幼稚園は[守離破]の[守]の段階であることを認識する。 (学園幼稚園独自の保育は[破]で相当先の段階)</p> |
| 3 | 目標 100%達成 | <p>教育・保育目標を全園児に達成させます。(時間のかかる子の親のことを考えよ)</p> <p>①そのために、出来る方法を考え工夫する。</p> <p>②その子が出来る環境、出来る課題を与える。</p> <p>③飽きが来ると少しだけ難しい課題を与える。(これを繰り返す)</p> <p>④教員も自学自習する。</p> |
| 4 | 保護者満足度の向上 | <p>保護者の意見・要望をよく聴き、必要と判断したことは対策します。</p> <p>①よく聴くが、原理原則は変えない。</p> <p>②[苦情][不満]は宝の山と心得る。[不満]が無くなれば保護者満足は何倍にもなって返ってくる。(100-1=0 100-0=200)</p> |
| 5 | 正課 | <p>(1)読み書き計算(辞書引き)[学ぶ力]</p> <p>幼児教育では「読み書き計算」が最も重要と認識します。</p> <p>①必ず毎日それぞれ 20 分ずつ行う。(難しい日は 5 分でも良いので必ず行う。)</p> <p>②行うことを習慣化させる。(かけっこ、音楽を含む)</p> <p>③読み書き計算が小学校での知識教育に強力な土台となる。</p> <p>④あくまでも「自学自習」が基本。</p> <p>(2)体操・かけっこ[体の力・心の力]</p> <p>①体操を通して[努力すること]を教える。そして、努力すれば克服できることを知る。</p> <p>②[体を強くする⇒心が強くなる⇒人に優しくできる]ことが究極の目的。</p> <p>③その子にとってより難易度の高いことに挑戦させることにより自信を付けさせる。</p> |
| 6 | 預かり保育 | <p>[遊びから学ぶ]保育を実践します。(「自由に遊ばせておく」とは異なる。)</p> <p>①預かり保育の保育を受けさせたいので[預かり保育]を利用すると保護者から言ってもらえるような質の高い保育を行う。</p> <p>②教員はどのような遊びの経験が[学びに向かう力]につながるのか常に考え保育する。</p> <p>③ヨコミネ式中心の正課を補完するため、「製作」、「遊び」、「ダンス」等の質の高い保育を提供します。</p> <p>④教員は[遊びから学ぶ]保育の本質を学習します。</p> |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|-----------|--|
| 7 | 行事 | <p>(1)参観 普段の教育・保育をそのまま見てもらい、保護者に子どもの成長を実感してもらおう。 (このため、令和6年度は参観の実施回数を削減した。)</p> <p>(2)運動会・発表会 ①できるだけ、普段の教育成果を披露する場にする。 ②行事の為の練習は可能な限り最小限にとどめる。(正課の時間が少なくなる。)</p> |
| 8 | 躰 | <p>躰すなわち、基本的な礼儀やマナー、他人への思いやりは重要。 これは大人になっても生きる。</p> <p>①挨拶 ②「はい」の返事 ③靴を揃える ④約束を守る ⑤嘘をつかない ⑥友だちと仲良くする</p> |
| 9 | 教員の資質向上 | <p>①精一杯挨拶する。 ②保育室・職員室を綺麗にする。(掃除・整理整頓、断捨離) ③保育の勉強を自学自習する。 ④(結果ではなく)子どもの努力を褒める。 ⑤常識を磨く。(「保育者に求められる100の常識」を熟読する) ⑥子どもに丁寧に接する。</p> |
| 10 | 特別支援 | <p>①その子に関心を持つ。 ②その子が興味を持つことを探し、出来る環境を与える。 ③専門知識の習得に努める。 ④インクルーシブ保育を実りあるものにする。</p> |
| 11 | 2歳児クラスの充実 | <p>令和6年度新設する2歳児クラス(新りす組)の保育水準の向上を図ります。</p> <p>①教育・保育目標を達成する。 ②体操、リズム・合奏、造形表現を充実させる。 ③保護者の信頼を得る。 ④保護者の評価を得て、次年度の募集につなげる。</p> |
| 12 | 園児募集 | <p>0～2歳児の募集に注力する。</p> <p>①「遊ぼう会」の質的向上を図る。 ②「つどいの広場」を充実させる。</p> |

保育園

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|-------------|--|
| 1 | 重点取組課題 | <p>(1)事故防止対策の強化 事故の発生削減と重大な事故を未然に防ぐために教職員の安全教育を徹底します。 ・外部研修への参加、マニュアルの熟読等 ・ヒヤリハット報告と教職員間の月ごとの集計による情報共有 ・安全点検の実施 ・食中毒防止の徹底</p> <p>(2)感染症対策の強化 ・流行している感染症の知識習得・情報収集に努めます。 ・施設、備品等の消毒を徹底します。 ・保育室の換気、室温、湿度等に十分留意します。 ・教職員の健康管理を徹底します。</p> <p>(3)学園幼稚園との連携強化 施設の共同利用、行事への参加、合同保育等より連携を強化し、保育レベルの向上、内部進学を強化を図ります。</p> |
| 2 | 保育の質の確保・向上 | <p>(1)教職員の資質・専門性の向上 園外研修、園内研修について計画的な受講を通して、教職員等の資質・専門性の向上に務めます。園内研修では外部講師を招いて、学園幼稚園と同様にヨコミネ式教育法の習得・向上を図ります。</p> <p>(2)設定保育の強化・充実 かけっこ・体操、造形表現、リトミック、学習[文字・数字・国旗・地理など]、絵本の読み聞かせをより一層強化・充実させます。 また、専門家による設定保育を、教職員が共に行うことにより、教職員の保育スキルの向上に努めます。</p> <p>(3)保育体制の充実 休憩対応保育士の配置、配置基準以上に教職員を配置する等保育体制を充実し、向上を図ります。</p> <p>(4)インクルーシブ保育の充実 インクルーシブ保育についての専門知識の習得・実践に務めます。</p> |
| 3 | 働き方改革への取り組み | <p>(1)DXの推進 コドモン、ビジネスチャット等の活用によりデジタルシフトを推進し、教職員の事務負担を軽減するとともに保護者の方の利便性にも配慮します。</p> <p>(2)ペーパーレスの推進 必要なもの以外は紙での配付等を廃止し、事務負担を軽減するとともに保護者の方の利便性にも配慮します。</p> |

| No | 施策種類 | 事業計画 |
|----|--------------|---|
| 4 | 保護者満足度の向上 | (1)休園をしない体制 園事情による休園をしない体制をつくります。 |
| | | (2)保育映像の提供 保育風景を録画し、YOU TUBEの限定公開機能により自宅等で見ることができる機会を継続的に提供します。 [注]公開期間は短期間に限定。URLを秘匿し検索できない設定とします。 |
| | | (3)情報の共有化の推進 ビジネスチャット、コドモンを通して、保護者の方と園との必要な情報をタイムリーに共有します。 |
| 5 | 社会貢献・文化活動の推進 | (1)地域枠の設定 地域枠の設定により、地域の待機児童、保留児童の解消に貢献します。 |
| 6 | 園児募集 | (1)内部関係者への告知の強化 学園の教職員、保護者の方等への継続的な広報等により保護者会・同窓会・後援会等の学園関係者への認知度を向上に務め、安定的な園児確保につなげます。 |
| | | (2)WEBサイト、SNSによる広報の充実 WEBサイトの充実を図り、園の認知度を向上させ、園児募集につなげます。 |
| | | (3)歳児別人数の適正化 園児の歳児別定員にそった園児募集を心がけ、歳児別人数にばらつきがないようにします。 |
| | | (4)キャンセル待ちの確保 キャンセル待ちの園児を常時確保し、園児が途中で退園してもすぐに欠員を補充できる体制をとります。 |
| | | (5)自社枠の確保 令和5年度より義務化された自社枠の定員枠について、学園の教職員への告知を強化します。 |

主な新規事業計画

| No | 事業名称 | 担当校園 |
|----|------------------------------|---------------|
| 1 | 総合ホール 1階 食堂リニューアル工事(100周年事業) | 本部 |
| 2 | 小学校リニューアル工事 | 小学校 |
| 3 | 総合ホール 1~4階トイレリニューアル工事 | 高校 |
| 4 | 清風学舎 東側系統 GHP 更新工事(1年目/3年) | 短期大学 |
| 5 | 学園町北エリア 受電キュービクル取替工事 | 本部 |
| 6 | 空調更新工事(1~4階東側系統・6階) | 中学校 |
| 7 | 学内サーバー入替 | 本部 |
| 8 | 児童用個人ロッカー+教員用ロッカー(教室分)の入替え | 小学校 |
| 9 | 高校本館 外壁(南面)補修工事(1年目/3年) | 高校 |
| 10 | 教職員用 Win10PC リプレイス | 本部 |
| 11 | 高校東館 北面 漏水対策工事 | 高校 |
| 12 | アクティブラーニングスペース化 | 高等学校 |
| 13 | 体育館 空調新規設置工事 | 短期大学 |
| 14 | 温水プール 施設設備改修工事(2年目/9年) | 高校 |
| 15 | 第2飯盛嶺校舎エレベーター工事 | 高校 |
| 16 | 高校本館 2階屋上バルコニー防水工事 | 高校 |
| 17 | 温水プール 施設設備改修工事(2年目/9年) | 高校 |
| 18 | HONDAドライビングシミュレーター導入について | 大学リハビリテーション学部 |
| 19 | プロジェクター入替 | 短期大学 |
| 20 | 消防設備工事 | 高等学校 |
| 21 | 剣道場 空調工事 | 高等学校 |
| 22 | フレッツ光クロス導入 | 本部 |

[注]投資額順(降順)に掲載。



Shijonawate Gakuen

